



ETIC 第2回TPEセミナー

主催:ETIC Inc. 後援:週刊ゴム報知新聞、(株)加藤事務所

<http://www.elastec-intel.jp/>

1、期日: 2013年2月21日(木)

2、場所: 虎/門 消防会館(東京都港区虎/門2丁目9-16)

<http://www.nissho.or.jp/contents/static/kyoukai.html>

TEL: 03-3503-1486

3、参加費: 9,000円/名

4、定員: 50名

5、講演主題:「熱可塑性エラストマーの現状と将来技術」

6、講演題目と講演者

開会の挨拶: ETIC代表、日比谷陽一良 (13:00~13:10)

<座長> 服部岩和

1) 広島大学大学院 中山祐正准教授 (13:10~14:10)

「生分解性を有する熱可塑性エラストマー」

衝撃に対してもろいポリ乳酸も、両端はポリ乳酸ブロックで、中間ブロックにソフトセグメントポリマーを導入して生分解性熱可塑性エラストマー(TPE)化した例がいくつか報告されており、このTPEの組成や分子量が物性に与える影響について述べる。

2) リケンテクノス(株) 杉野等室長 (14:10~14:50)

「今後の自動車用TPE」

PVC樹脂忌避の風潮により、この15年間自動車用軟質材料は、軟質PVCからTPEに素材変換が行われてきた。今後TPEは、コストと性能とのバランス、リサイクル性等から、ゴムを代替する機能材料として伸びが期待される。

コーヒータイム (14:50~15:10)

<座長> 加藤進一 (株)加藤事務所社長

3) 大庭塾代表 (元日産自動車(株)シニアエンジニア)大庭敏之(15:10~16:10)

「自動車部品におけるソフトマテリアルの現状と将来」

ハードな金属部品をもソフトな高分子部品が代替し増加してきたが、本来のソフトな感触を生かした内装材、あるいはエラストマーの特徴を生かした用途等にも進歩はみられる。そのようなソフトマテリアルの最近の使用例から将来を見通してみたい。

4) ETIC、シニアコンサルタント 服部悟 (16:10~16:30)

「日本、中国、韓国、インドの熱可塑性エラストマー市場概観」

世界経済の牽引地域として期待されるアジアの主要国のTPE業界を、主としてTPEユーザーをインタビュー、分析し、今後のTPEの可能性を推考し、日本のTPE業界の方向性決定の一助とする。

5) ETIC 代表

「原料から見たTPEの将来」(16:30~16:50)

主原料のひとつのEPDM、EPMの需給はこれまで極めてタイトであった。2013年以降新設プラントが続々と稼働が始まり状況は一転するのか？

7、申込み先: <http://www.elastec-intel.jp/etic.seminar.doc>

上記のアドレスにアクセスして、申込書を記入後、下記の担当者へ送付してください。

8、担当者: 服部 悟: お問い合わせは下記メールアドレスへ

メールアドレス: s_hattori@elastec-intel.jp